

知事定例記者会見

日時 令和8年4月27日(月) 14:00~14:24

場所 別館2階 記者会見室

(知事)

はい。本日、私から3点、まずご報告をさせていただきます。

1点目はですね、「SHIZUOKA せかい演劇祭 2026」の開催についてでございます。

静岡県立劇団SPACが主催いたします、「SHIZUOKA せかい演劇祭 2026」が、4月25日から5月の6日までの期間、静岡市内で開催をされます。駿府城公園特設会場では、5月2日から6日まで、宮城聡芸術総監督演出の野外劇「王女メディア」が上演されます。これは1999年の初演以降、世界20都市以上を巡った宮城氏の代表作でございます。昨年6月のロンドン公演では、連日満員で高い評価を得た作品でございます。静岡では16年ぶりの再演となります。多くの演劇ファンの期待が寄せられております。

また、日本平の静岡県舞台芸術公園では、この演劇祭のディレクター石神夏希氏が県西部で暮らすブラジルにルーツを持つ住民と創り上げた舞台「うなぎの回遊」や、東南アジアから創作に訪れている劇作家と交流ができるイベントが行われ、多文化共生にも繋げてまいります。その他、静岡芸術劇場では、フランスのアーティスト集団による舞台作品など海外から招聘した作品が上演をされます。

ゴールデンウィーク後半には、駿府城公園で、SPACと静岡市、企業が連携したストリートシアターフェス「ストレンジシード静岡」や、グルメガーデンなど様々な賑わいイベントも実施をされますので、ぜひ多くの方々に、「SHIZUOKA せかい演劇祭」にお越しをいただきたいと思っております。

1点目は以上でございます。

2点目は、令和8年度 富士山の登山規制についてでございます。

今シーズンも、世界文化遺産富士山の保全と、登山者の安全確保のため、登山規制を実施いたします。登山を予定されている方をはじめ、関係の皆様のご理解とご協力をお願いを申し上げます。

今年の変更点といたしましては、山梨県側の吉田ルートと合流する本県の須走ルートの開山日を、山梨県と足並みを揃えて7月1日とし、同日から登山規制を実施いたします。

規制内容は、「登山者に対するルール・マナーの事前学習」、「午後(正しくは、「午後2時」)から翌午前3時までに入山する場合の山小屋の宿泊予約」、「入山料4千円

の納付」でございまして、昨年と同様でございます。

これらの手続は、公式アプリ「静岡FUJINAVI(正しくは、「静岡県 FUJINAVI」)」で事前登録が可能であり、5月8日から事前登録の受付を開始いたします。このアプリの利用によりまして、登山当日、現地での手続の時間が短縮されるなど大変便利でございます。

また、山小屋情報の表示や、目的地までの所要時間を確認できるなど、事前登録に限らず、登山中にも役立つ新たな機能を追加をいたしました。ぜひ多くの方々のご利用をお願い申し上げます。

2点目は以上でございます。

3点目は、中東情勢に関する県の対応についてでございます。

米国とイスラエルによるイラン攻撃から2ヶ月が経とうとしておりますが、戦闘終結に向けた協議は難航しており、情勢は引き続き予断を許しません。国は、原油の代替調達と備蓄の放出による供給量の確保、サプライチェーンへの働きかけによる流通段階での目詰まり解消を図るための対応を行っておりますが、県内でも幅広い産業において、原油やナフサ由来資材の供給不足や、価格高騰といった影響が顕在化してきており、一部では今後の経営に対する不安の声も聞かれております。このため県では、これまでの関係団体への聞き取り調査に加え、より詳細な状況を把握するため、5月11日(月)から県内事業者約650社への具体的な影響調査を実施し、県としての対応を検討してまいります。

また、県制度融資の要件緩和により、事業者の皆様への資金繰りの支援を強化をいたします。具体的には、5月1日(金)から、経済変動対策貸付の融資要件における算定対象期間を現行の3ヶ月間から1ヶ月間に短縮をし、直近1ヶ月の影響で利用できるようにいたします。

併せて、物価高騰対策事業の早期執行により、事業者の皆様の資金繰りを支援するとともに、県内の燃料油や石油製品の目詰まりの状況などを国に伝え、その解消を要請してまいります。

私からは以上でございます。

(幹事社)

ありがとうございました。幹事社の読売新聞です。よろしくお願いいたします。

ただいまの知事の発表について質問のある社はいたします。

(記者)

静岡新聞と申します。よろしくお願いいたします。

中東情勢の関係で伺います。現在ですね、事業者からどのような、具体的なその、

懸念ですとか要望が寄せられているかということと、あと資金繰りに関して、例えばもう、既に制度融資の活用がかなり増えてきているのか、そのあたりを教えてください。

(知事)

はい。それじゃこれは、担当の方から報告していただけますか。

(産業政策課 伊藤課長)

産業政策課の伊藤と申します。今、2週間に一度ぐらいですね、いろいろな団体に対して、影響の有無をですね、いろいろ聞き取っている状況ですけれども、知事から発表があったとおりですね、石油とか由来製品の供給不足や価格高騰といった声が寄せられておりますけれども、最新の調査では、特に潤滑油の関係であるとか、それからですね、と、潤滑油とかですね、あとシンナーですね、シンナー類、塗装に使うシンナー類などの供給がですね、かなり不足してきているというような情報が寄せられております。

それから、資金繰りについてはですね、直接相談が今、来ているわけではないんですけれども、今後、そういった事態も十分考えられるものですから、そういったことに備えて、資金繰りの要件を緩和するというものです。以上です。

(幹事社)

他いかがでしょうか。

じゃ、ないようですので、幹事社質問に移ります。2点伺います。

1点目は、リニア中央新幹線静岡工区について伺います。JR東海は、5月下旬から6月下旬にかけて、大井川流域の8市2町に加え、静岡市で住民説明会を開催し、県の担当者も同席すると発表しました。説明会で期待することや、県の担当者が説明会に同席する意義や役割をどのように捉えているか伺います。お願いします。

(知事)

はい。ご案内のとおり、3分野28項目の対話が全て終了いたしまして、それを踏まえてですね、JR東海の方が、大井川流域市町を中心にですね、自然環境保全措置の取組等について、住民の皆様にご説明をするということで、住民の皆様ですね、理解の促進に繋がることを期待しております。

県の方が同席をするということによってですね、やはり住民の皆さんもですね、不安や懸念が払拭されるんじゃないかなと。県がしっかりと寄り添っているということがですね、お示しできるんじゃないかなというふうに考えております。

(幹事社)

ありがとうございます。ただいまの質問に関して、質問がある社はお願いいたします。

(記者)

NHKです。お願いします。

今の関連してなんですけども、知事はリニアの着工の許可の判断に当たってですね、地域住民への説明だとか、法令上の手続を踏まえた上で判断するというようなお考えを示していらっしゃいますけども、今回のJRのですね、一連の説明会が終わった後に、法令上の手続の進捗もあると思うんですけども、少なくとも説明会、終わった後に判断をするというふうな、そういったお考えでよろしいでしょうか。

(知事)

はい。まずは、きちっと説明会を終えるまではですね、判断はできないというふうに思っております。説明会と同時にですね、各種法令手続がございますので、それが終わらないうちはですね、判断ができませんので、その二つがですね、行われた後に、判断をしたいというふうに思っております。

(記者)

ありがとうございました。

(幹事社)

その他いかがでしょうか。

じゃ、ないようですので、2問目に移ります。富士山の登山について伺います。ただいま発表項目でありましたけれども、これ以外にも、現在検討されているような規制内容があれば伺います。また、富士登山を巡ってはですね、閉山期間に遭難している人が相次いでいる状況です。救助費用の有償化を求める意見もありますが、改めてどう検討されていくお考えなのか伺います。

(知事)

はい。入山規制につきましては、先ほどご説明したとおりですね、入山の開始日をですね、須走ルートについて、山梨県と合わせて7月1日からとするということで、そこから入山規制を開始をするというところが変更点でございます。

もう一つ、閉山中のですね、登山の事故等に対する対応につきましては、もうこれまでも、ご説明を申し上げているとおりですね、今、山梨県とですね、調整をしてお

りますけれども、これやはり消防法(正しくは、「消防組織法」)等々ですね、かなり国との、国の法律と抵触しないように、この、ある規則を作っていかなければいけませんので、国との調整も含めてですね、一定の時間がかかるというふうに考えているところでございます。

(幹事社)

ありがとうございました。ただいまの回答に関して質問のある社はお願いいたします。

(記者)

テレビ静岡です。よろしくお願いたします。今、国との法律を抵触しないように規制を作っていないと、ということで、かなりこれ、相当難しい課題かなというふうに思うんですが、具体的には、その進捗状況は、どの程度進んでらっしゃる、実現に向けてですね、実現可能なレベルまで来ているのかどうか、知事の御所感をまず。

(知事)

そうですね。これは実務的に、かなりやっぱり調整していかなければいけませんので、最終的には国とのですね、調整ということにもなろうかと思えますし、一番いいのは、国の方から統一的なですね、ルール等をですね、全国に発出をしてもらうというのは、富士山だけの問題じゃありませんので、それが一番いいんじゃないかということで、そのことも国に対してお願いをしているところでございます。これは国の判断でございますので、今、ここで申し上げることではないというふうに思っています。

(記者)

ありがとうございます。その点、国で、去年11月に知事会を通じて、提案要望書というのを出されたということを伺いました。そのうちの一つ、消防庁含まれてたんですけども、取材するとやはり、山それぞれ状況が違うので、統一的なものをそもそも出すこと自体が難しいのではないかと、進捗としては進んでないっていうような回答だったんですけども、やはりその、なかなか国で統一で出すとなると、かなり時間もかかりますし、その一方で、毎年冬、山で遭難する人、特に富士山出ます。自治体として何らかの、埼玉県実例ありますけれども、一つ。

(知事)

ですから、今申し上げたように、国への要望と併せて、今どういうことができるかどうかっていうのをですね、山梨県と検討しているところでありまして、それ自体も

今おっしゃったように、個々別々のですね、要件もございますので、例えば、静岡県の場合は、防災ヘリと消防ヘリを抱えているという問題がございますので、そう簡単にですね、行くものではございませんので、そこはご理解をいただきたいと思えます。

(記者)

すいません。追加で。かなり難しいとおっしゃるとおりだと思います。その上で今、担当者レベルで静岡と山梨、議論してるということですが、これ、知事、去年の5月に出されてから、まもなく1年という、これなかなかその、進捗状況が見えません。どこか期限を区切るとか、あとは有識者会議に投げるとか、その担当者レベルの会議を超えたもの。

(知事)

もちろんあの、有識者にも相談しながらですね、特に法律的な手続っていうものが法令に違反してはいけませんので、そこが一番重要だと思いますので、そうしたことも踏まえてですね、これは山梨県との関係もございますので、引き続き、協議を進めていきたいというふうに思います。

(記者)

ありがとうございます。

(幹事社)

他いかがでしょうか。

(記者)

中日新聞です。よろしくお願いします。

富士山の入山料の4千円について、ちょっとお伺いしたいんですが、弊紙が、私が去年、富士山登って、5合目で、いろいろ20人ぐらいに聞いて回ったら、4千円というのは、高いか妥当って回答が拮抗していて、あの私もちょっと、物価高で4千円でちょっと痛いなっていうか思うんですが、まず知事の、この4千円という額に対する受け止めだとか、あとちょっと、今後見直す余地っていうのはあるのかどうかというのを教えてください。

(知事)

私は今の時点では、妥当な水準ではないかなというふうに思いますし、それをしっかりと徴収したものをですね、登山の安全管理等々にですね、しっかり充当してい

くということでございますので、今のところ妥当な水準だというふうに思いますし、すぐにこれを今、見直すということは考えておりません。

(記者)

ありがとうございます。

(幹事社)

他はいかがでしょうか。

(記者)

日経新聞です。先日ですね、静岡空港の2025年度の搭乗者数が発表されまして。

(幹事社)

ごめんなさい。幹事社の質問の回答に関してで。

(記者)

ごめんなさい、失礼しました。失礼します。

(幹事社)

それ以外である方、いらっしゃらないですか。

じゃ、ないようですので、それ以外も含めてお願いします。

(記者)

失礼しました。改めて失礼します。

先日、静岡空港のですね、2025年度の搭乗者数、発表になりまして、70万9,895人ということで、コロナ禍前までは、到達してないんですけども、ほぼコロナ禍前の水準まで回復しました。一方でですね、10月には国内線で札幌と那覇線が、事実上の撤退ということで、厳しい状況でもあると思うんですが、現在の静岡空港の経営状況について、知事のご所感を伺えればと思います。

(知事)

国内線につきましては、これはANAさんのですね、判断でございますので、それを尊重すべきだというふうに思います。元々、国内については、羽田便・伊丹便が飛べないということで、大変厳しいということですね、造る前から想定をされてたことでございますので、今のところ好調な海外便のですね、路線を増やしていくということで、経営のですね、プラスにしていくことが妥当ではないかというふう

に思います。ですから今、国際線の路線をですね、増やしていくということについては、空港会社と県が一緒になって取り組んでいるところまでございまして、近々ベトナム線もですね、就航するというので、東南アジアを中心にですね、路線を強化していきたいと思っておりますし、それ以上にですね、今後、静岡空港自体のあり方について、将来的なことも含めて考えていかなければいけませんので、私はやっぱり、プライベートジェットですね、一大集積地にしていくと。日本におけるですね、プライベートジェットの窓口になるというのが、一番、静岡空港の立地特性も含めて、可能性のある、いい使い方ではないかなというふうに思いますんで、そうしたことについてですね、これから検討していきたいというふうに考えております。

(記者)

ありがとうございます。

(記者)

静岡朝日テレビです。よろしくお願いします。

先日、中東情勢に関連してなんですけれども、県議会の議員の方々の申入れもありました。その中でいろんな報告もあったと思うんですけれども、知事としては、この中東情勢で、原油が足りないとか、関連したものが足りないというところに関しての危機感というのは、どういうふうにお持ちでしょうか。

(知事)

はい。これ一番やっぱり、憂慮すべきはですね、先がなかなか見通せないというところまでございます。いつ終息をしていくかというところは、まだ見通せないわけがありますけれども、終息が見通せたにしてもですね、一定のですね、影響って残っていくと思っておりますので、しっかりそこはですね、注視しながら国の動向を見据えてですね、県として必要な対応をですね、迅速に行っていきたいというふうに思っております。

(記者)

国の方に、この影響調査をしてから、申入れをしていくというような、具体的な日程とかは、まだこれからという感じですかね。

(知事)

これからでございます。

(記者)

影響調査に関しては、どういう、いつ頃までに、例えば、5月25日までの調査時期ですけども、すぐにまとめて、取りまとめを出すようなことってものを考えてらっしゃるのでしょうか。

(知事)

担当の方からお願いします。

(産業政策課 伊藤課長)

速やかに取りまとめをいたしますけれども、公表の仕方はまた、検討していきたいと思っています。

(記者)

ありがとうございます。

あと先日、駿河湾フェリーに関して、利用者の状況が発表されましたけれども、今までで一番少ない数字でした。この秋にも判断があると思うんですが、この状況に関しては、どういうふうに受け止めていらっしゃるのでしょうか。

(知事)

いろいろ故障があったり、事故があったりということで、利用者数が大きく減ったということは、これ憂慮すべきことだなというふうに思いますし、今後いろいろなことをですね、総合的に勘案して、秋頃に今後どうしていくかということについて判断をしていきたいと思っています。その方針には変わりはありません。

(記者)

今の状況ですと、数字的にはかなり悪いものということで、判断としてはマイナスの材料になるという考えですか。

(知事)

これはあの、通常営業だけではなくて、故障があったりということで、運休の時期が続いてたという、そういう不可抗力もございますので、そういうことも加味をしなければいけませんけれども、最終的には、いろんなことを、将来的なことも含めて総合的に判断をしていくということになろうかと思っています。

(記者)

ありがとうございます。

(幹事社)

他はいかがでしょうか。

(記者)

すいません。SBSテレビです。よろしくお願いします。

話が変わってしまうんですが、熱海富士の関脇の昇進について伺いたいんですが、県勢の歴史としては96年ぶりの快挙ということで、知事としての受け止めに教えていただけますか。

(知事)

そうですね。もうこれは本当に、県民としても大変喜ばしいことだというふうに思いますし、私自身も照ノ富士関の後援会の顧問も務めていることもありますし、熱海富士、翠富士など、県内ゆかりの力士の皆さんともですね、面識がございますので、そうした力士の皆さんが活躍をされるというのは、個人的にも大変嬉しく思っております。熱海富士関もおっしゃっていたようにですね、これから上を目指していくという決意も述べられておりましたので、ぜひ次は大関を目指してですね、頑張ってくださいなというふうに思います。

(幹事社)

他はいかがでしょうか。

(記者)

すいません。テレビ静岡です。度々すいません。先ほどの質問、富士山の有償化の件に戻ってしまってすいません。一応、確認なんですけれども、鈴木知事としては、冬山、閉山期間中、富士山の有償化っていうのは必要と考えるか。

(知事)

はい。何らかの抑止力になるようなですね、ルール作りは必要だというふうに思っております。

(記者)

今、その上で、県としての議論は、どのぐらい進捗してるかっていう報告を受けていらっしゃいますか。

(知事)

はい。適宜受けております、はい。

(記者)

最終的には、その、法律的に難しい場合は、県としては有償化難しいって結論を出すことも必要でしょうか。

(知事)

何らかのルールは、私はできるというふうに思っております。はい。

(記者)

ありがとうございます。

(幹事社)

他はいかがでしょうか。

じゃ、ないようですので、これで終了させていただきます。ありがとうございました。

(知事)

はい、どうもありがとうございました。